



## 常に患者さんの顔を見ながら音声入力。 電子カルテは、 当院の基本理念に欠かせないツールです。



内科・皮膚科・肛門科・リハビリテーション科(理学診療科)・往診・在宅医療  
●医療法人社団友城会 荻野クリニック 様(神奈川県厚木市)

診療技術の向上・治療技術の向上・人間性を高めることの向上——が同クリニックの基本理念。これらを念頭に徳川 英雄院長は、1日の診療時間の $\frac{2}{3}$ をクリニックでの診療に、残りの $\frac{1}{3}$ を往診に当てています。診療上どうしても手放せないのが電子カルテ。「導入に当たって音声入力システムを採用したことが最大のメリット。入力用マイクを持って、常に患者さんの顔を見ながら診療できるからです。また、往診時には往診用モバイルを使用。在宅患者さんのその日の診療録をモバイルに入力し、クリニックに戻ってから院内の電子カルテシステムに入れるので、患者さんの情報管理も万全です。看護業務・医療事務の面でも省力化できることはもちろん、BMLの迅速確実なサポート体制が確立されているから何より安心できます」(院長)

現在、受付に3台、診察室に2台、処置室・レントゲン室(兼用)に1台、リハビリテーション室に1台、往診用モバイル(ペンタブレット)1台、サーバー1台の構成により電子カルテシステムを運用。「常に患者さんのそばにいて診療に当たる」を実践する同クリニックのために、今日もお役に立っている、BMLの《メディカルステーション クリニック》。

患者さんへ、お医者さんへ  
うれしい電子カルテ。

